

# 5月例会はマイケル・ムーア「シッコ(SICKO)」

7月19・20・21日、映画大学 in 姫路

## 新入会員勧誘のお願い

昨年度は、会員数が200人を超え、会の運営が安定してきたと安心、いや、油断していました。ところが、この3・4月に約25人の大量の退会者が出てしまいました。大会の理由は、新年度になって環境が変わったことや、例会に参加しにくくなったということで、年度変わりであるということのほかは、特別な原因は無いようです。このまま5月例会での新入会者が少なければ、180人を下回る心配も出てきました。

通常は、2箇月ごとに5人から15人くらいの入会者があり、入会者に近い数の退会者があって、バランスがとれていました。昨年度は、特に5月と9月に15人を超える入会者があり、会員数の増加に結びついていました。

ついては、新年度を迎え、新入会員の確保に力を入れたいと思います。会員の皆さんの周りで、映画好きの人がいれば、5月例会からの入会をお勧めください。特に、新しく加古川に来た人や、家庭や仕事の環境変化のあった人にお声掛けいただいて、試しに4箇月だけでも入会していただくようご案内いただきますようお願いいたします。

年度替りのこの時期こそこのことですので、重ねてお願いいたします。

## 例会のお知らせ

コロンバイン高校の銃乱射事件に潜む、悩めるアメリカの若者や銃社会のドキュメンタリーの「ボウリング・フォー・コロンバイン」から5年、今度は、アメリカの格差社会での医療を描いた作品。「シッコはオモシロイ」、観た人みんなが口を揃えて言っていたが、最近のニュースを見ていると、日本の医療制度も心配で、他人ごとではなくなってきたような気持ちになる。ドキュメンタリー映画としては秀逸の作品。

名称 / 第36回例会「シッコ(SICKO)」

日時 / 5月13日(火) PM2:00 ~、PM4:20 ~、PM6:40 ~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同

封の「例会参加券」をお渡しく下さい。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。



## 【例会作品データ】

タイトル / シッコ(SICKO)

監督・出演 / マイケル・ムーア

データ / 2007年、アメリカ、カラー、2時間3分、16mm、ドキュメンタリー / 医療問題

解説 / マイケル・ムーア最新作！様々な視点から医療の暗部を暴き出す、衝撃のドキュメンタリー。医療保障の破滅によって崩壊し、粉々にされ、場合によっては絶たれてしまったごく普通のアメリカ人数名のプロファイルで幕をあげる本作は、その危機的状況が、4700万人の無保険の市民たちだけでなく、官僚形式主義によってしばしば締め付けられながらも保険料を律儀に支払っている、その他数百万人の市民たちにも影響を及ぼしていることを明らかにする。いかにしてこれほどの混乱状態になったのか、それだけを述べた後、観客はすぐに世界へ連れ出される。カナダ、イギリス、フランスといった国

を訪れるのだが、それらの国々では、国民全員が無料医療という恩恵を受けているのだ。またムーアは、9・11事件の英雄の団を集結させる。彼らは、アメリカにおいて医学的治療を拒否され、今も衰弱性疾患に苦しむ救助隊員たちであった...

オスカー受賞作「ボウリング・フォー・コロンバイン」や、ドキュメンタリー作品として最大のヒット作となった「華氏 911」という草分け的作品に続くマイケル・ムーアの最新作。常軌を逸した、時に残酷ともいえるアメリカの医療制度を率直に語る作品であり、基本的な健康保険を求めらる中で、途方もない、奇妙な困難に直面する一般の人々の声が綴られている。マーク・トウェインやウィル・ロジャースの伝統を受け継ぎ、本作はユーモアを活用してこれらの切実な話を語り、ある代替案が唯一最善の答えであるという結論に観客を導いていく。(作品資料より)

## 2008 年度の総会と活動について

2008 年度の加古川シネマクラブ定例総会は 5 月 9 日(金)午後 7 時から加古川総合文化センター会議室 2 で開催しますので、出席いただきますようご案内いたします。

まず、2007 年度の全体的な報告としては、会員数が増え、例会、上映会とも順調でした。

さて、次に、議案のうち 2008 年度の活動要旨を説明します。

この会の中心の活動である 2 か月に 1 回の映画鑑賞会を例会として実施します。作品の選定には、多数の良い作品候補が必要ですので、推薦作品をお知らせください。

次に、一般の方を対象とした日本映画の上映会を文化庁支援事業として補助金を受けて開催します。連携する他の映画団体との協議が進んでおり、作品は「夕凧の街・桜の国」と決まりました。できれば監督などゲストをお招きしたいと考えています。入場者を多く見込めない作品で、経費をあまりかけられないため、会場は、加古川総合文化センターを計画しています。

また、他の団体などが加古川地域で開催する映画上映会に協力します。この会の会員が、宣伝を手伝ったり、チケットの販売に協力したり、当日のスタッフとして協力します。すでに、決定しているものは、6 月に加古川総合文化センターの「母べえ」上映会(兵庫県映画センター主催)に協力します。

これらの活動を行う経費ですが、例会 1 回につき 20 万円くらいかかります。フィルム代、会場代、郵送代、資料コピー代が主なものです。いつも会員数

の最低目標を 200 人と言っているのは、この経費が必要だからです。現在、会員数が減少気味です。

その他、他の団体が主催する映画上映会に協力したときに、前売券販売手数料や当日スタッフの食事代程度の協力金をいただける場合があるので、この分も収入として計上し、その程度の額を、各地の映画行事への参加する人への補助として支出に充てたりしています。

このように、例年通り、例会を中心とした活動計画を立てています。

総会に欠席した方は、総会議案を 5 月 13 日の例会会場受付に置いておきますので、ご確認ください。

## 映画大学 in 姫路に参加しませんか

映画大学とは、映画鑑賞団体全国連絡会議(全国映画連)が主催するイベントで、映画製作の現場に携る方々をたくさんお招きして、お話を聴いたり、講師陣や全国各地の団体の仲間と交流する全国の映画鑑賞団体にとっての一大イベントです。

今年は、7 月 19 日(土)、20 日(日)、21 日(月・祝)に姫路文学館を中心会場として開催されます。

姫路シネマクラブさんが中心に準備を進めていますが、お隣のご縁で加古川シネマクラブも全面的に協力することになりました。

スタッフとして協力を希望する方は、事前の打ち合わせに何度か参加していただきますので、加古川シネマクラブまで電話でお問い合わせください。

また、映画大学への参加方法は、2泊3日すべてなら 3 万 7 千円、1 日だけなら 7 千円から 9 千円の参加費を添えて申込みが必要です。詳しくは、後日、内容を載せたチラシをお送りします。

## 前回例会の報告

3 月 27 日の例会では、「パッチギ! LOVE&PEACE」を鑑賞しました。参加会員 129 人。

なぜか、封切り当時、上映館が多かったためか、参加者が少なかった。

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300 字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

**加古川シネマクラブ** 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 199 人(3 月 27 日現在)